

ここが知りたい！AWS 導入までの AtoZ ～企業が AWS を導入する際に気になること～

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社
マーケティング本部 テクニカルエバンジェリスト
高岡 将

クラウドとどうやって向き合っていますか？

- 個人として
 - クラウドの勉強や情報収集
 - 個人情報発信の場をクラウドで！
- 企業（会社）として
 - クラウドそのものの調査
 - 実際に導入したいシステム（サービス）がある
- その他

企業がAWSを導入するにあたって

- ・ 情報システム部門 → 社内リソース
- ・ 事業系システム → SI , BtoB
- ・ エンドユーザー向け → BtoC
- ・ コストは？
- ・ 本当にできる？
- ・ 何かあったらどうする？

気になる部分は多種多様

クラウドに対する印象を前向きに！

- コントロールの範囲が限定される気がする（例
 - 例えば障害発生時のハンドリング
 - どこで、何が起きているのか？ 実際に自社の管理するシステムの挙動の事実しかわからない
 - 何をしたら他のシステムにまで影響が広がるのかどうかわからない
 - 復旧までの予測と実際の復旧、その理由（本当に安心して使い始めても大丈夫？）
 - 再発防止策
 -

オンプレミスの延長と考えるか、新技術に新しいアーキテクチャで挑むか

本日の内容

- 企業におけるクラウド導入ステップ
- サポート、バックアップ

後日「実際に使ってみたい！」 「もっと詳しくお話を聞いてみたい！」 と思っていただければ幸いです！

企業におけるクラウド導入ステップ

企業におけるクラウド導入ステップ

- ・ 実際に検討（検証）することが重要
- ・ 仮に適用が難しくても「どの部分が難しいか」きちんと知ることができる
- ・ クラウドが適用できなくても別の最適解の気づきの可能性
- ・ 使わず嫌いにならず、検討・検証の結果、向き不向きを適切に判断したい

企業におけるクラウド導入ステップ


★まず知ろう！

★触ってみよう！


★利用するにあたって知りたいこと！

★必要に応じて先に知っておきたいこと


★実際に利用する前に・・・




0)クラウドとはAWSとは
1)登録まで



2)安全な利用（論理的セキュリティ）
3)請求・費用
4)安全な利用（請求）



5)AWS経理的視点
6)AWS法務視点



7)安全な利用（物理的経路）
8)AWSを始めよう

企業におけるクラウド導入ステップ

0)クラウドとはAWSとは

基本的なこと
最新技術動向
コミュニティ活用

1)登録まで

無料期間とできること
クレジットカード登録の理解

2)安全な利用（論理的セキュリティ）

悪意から守るための知識
通常ID/Password、アカウント譲渡
IAMでロールコントロール

3)請求・費用

円・ドル
請求書・カード
締めと実請求

4)安全な利用（請求）

料金アラート設定
設定画面・設定方法
実アラート

5)AWS経理的視点

オンプレとの科目比較
清算方法
経理とシステムとクラウド

6)AWS法務視点

個人情報の扱い
お預かりしているデータの扱い
各認証機関（データセンターなど）

7)安全な利用（物理的経路）

VPC
Direct Connect

8)AWSを始めよう

使ってみようAWS（初めてのS3/
EC2）

1) 登録まで

- 無償で評価いただくことが可能です
 - 無償で評価できるリソースには制限がございます
- 登録にはクレジットカード情報が必要となります
 - こちらは無償・有償限らず、本人確認の意味も兼ねており、無償評価でもクレジットカード情報が必要となります
- 無償ハンズオントレーニングなどを準備しております

1) 登録まで

ステップ1: サインイン & AWS アカウント作成



サインイン、または AWS アカウントを作成

現在 Amazon.com (米国)のアカウントをお持ちのお客様はそちらを使用してサインインできます。新規アカウントを作成する場合は、[私は新しいユーザーです]を選択してください。

メールアドレス:

私は新規ユーザーです。

私は既存のユーザーです
パスワード:

[パスワードをお忘れですか?](#)
[Eメールアドレスを変更しましたか?](#)

新しい AWS アカウントには以下の特典が含まれます。

AWS 無料利用枠を 12 か月間利用可能

- Amazon EC2: Amazon EC2: Windows および Linux t2.micro のインスタンスを 1 か月あたり 750 時間利用可能
- Amazon S3: 5 GB のストレージ
- Amazon RDS: マイクロ DB インスタンスを 1 か月あたり 750 時間利用可能
- Amazon DynamoDB: 1 か月あたり最大 1200 万回の書き込みおよび 2400 万回の読み取りが可能

AWS ベーシックサポートの特徴

- カスタマーサービス: 1 日 24 時間/週 7 日/年 365 日
- サポートフォーラム
- ドキュメント、白書およびベストプラクティスガイド

その他の使用条件については aws.amazon.com/jp/free にアクセスしてください。

1) 登録まで

ステップ2: ログイン証明書

 **amazon**
web services

ログイン証明書

以下のフォームを使用して、ログイン証明書を作成してください。これは AWS だけでなく、Amazon.com にも使用できます。

名前: ①

Eメールアドレス: ②

もう一度入力してください: ③

注: これが当社がお客様のアカウントについてご連絡する際に使用するEメールアドレスです。

パスワードを入力してください: ④

もう一度入力してください:

1) 登録まで

ステップ3: 連絡先情報入力

The screenshot shows the 'Amazon Web Services サインアップ' (Sign Up) page. The main heading is '連絡先情報' (Contact Information). The form contains the following fields and elements:

- Header:** Amazon Web Services logo and 'Amazon Web Services サインアップ' with a language dropdown set to '日本語' (Japanese).
- Section:** 連絡先情報
- Required Fields:** * 必須のフィールド
- Form Fields:**
 - フルネーム* (Full Name): Taro Yamada
 - 会社名 (Company Name): AWS
 - 国/地域* (Country/Region): 日本 (Japan)
 - 住所* (Address): 1-8-1 Shimomeguro
 - 市区町村* (City/Town/Village): Meguro-ku
 - 都道府県または地域* (Prefecture/Region): Tokyo
 - 郵便番号* (Postal Code): 153-0063
 - 電話番号* (Phone Number): +81-3-1234-5678
- Security Check:** セキュリティチェック (Security Check) with a CAPTCHA image showing 'R6LEGY' and a text input field for the characters.
- Agreement:** AWS カスタマーアグリーメント (AWS Customer Agreement) with a checked checkbox and a link to the terms.
- Button:** アカウントを作成して続行 (Create account and continue)

Annotations in the image:

- ①: Points to the language dropdown menu.
- ②: Points to the contact information form fields.
- ③: Points to the CAPTCHA text input field.
- ④: Points to the AWS Customer Agreement checkbox.

1) 登録まで

ステップ4: お支払い情報入力 (クレジットカード情報登録)

連絡先情報 **支払情報** 本人確認 サポートプラン 確認

支払情報

支払情報を以下に入力してください。無料利用枠によって、AWS の多様な製品をお試しいただけます。無料利用枠の対象にならないご利用分の料金のみを、クレジットカードに請求させていただきます。

AWS 無料利用枠	コンピューティング Amazon EC2	ストレージ Amazon S3	データベース Amazon RDS
1年間の無料利用枠	毎月 750 時間*	5GB	毎月 750 時間*

*料金の詳細をすべて表示。

① **クレジットカード番号** **有効期限**

カード保有者の氏名

② **請求先住所の選択**
クレジットカードに関連付ける住所を選択してください。

連絡先住所を使用する
(1-8-1 Shimomeguro Arco Tower 19F Meguro-ku Tokyo 153-0064 JP)

新しい住所を使用する

1) 登録まで

ステップ5: 日本語自動音声電話によるアカウント認証

The screenshot shows a registration progress bar at the top with five steps: 連絡先情報 (Contact Information), 支払情報 (Payment Information), 本人確認 (Identity Verification), サポートプラン (Support Plan), and 確認 (Confirmation). The '本人確認' step is currently active, indicated by an orange circle and a checkmark. Below the progress bar, the page title is '本人確認'. A paragraph of text explains that a confirmation call will be made to the phone number provided, and that users should ensure their phone is on and not in Do Not Disturb mode. Below this text is a form titled '1. 電話番号の入力' (Enter phone number). The form includes a dropdown for '国コード' (Country code) set to '日本 (+81)', a text input for '電話番号' (Phone number) with a masked number, and a text input for '内線' (Extension). A yellow button labeled 'すぐに連絡を受ける' (Receive contact immediately) is highlighted with an orange border. Below the form, the text '2. 通話中' (2. In call) is visible.

連絡先情報 支払情報 本人確認 サポートプラン 確認

本人確認

ご入力いただいた電話番号に、自動音声によるPINの入力を求める確認電話が直ちにかかってきますので、携帯電話等、非通知の着信拒否設定を行っている場合は、着信拒否設定の解除が必要です。「すぐに連絡を受ける」ボタンをクリックする前に、必ず電話がわかる状態にしておいてください。

1. 電話番号の入力

以下に情報を入力し、「すぐに連絡を受ける」ボタンをクリックしてください。

国コード 電話番号 内線

日本 (+81) [masked number] []

すぐに連絡を受ける

2. 通話中

1) 登録まで

ステップ5: 日本語自動音声電話によるアカウント認証



1.電話番号の入力 ✓

2.通話中
電話の指示に従い、以下の暗証番号 (PIN) を電話で入力してください。

PIN: [REDACTED]

上記の番号にまだ通話がない場合は、しばらくお待ちください。このページは自動的に更新され、次に何をすべきか指示が表示されます。

3.本人確認終了

1) 登録まで

ステップ5: 日本語自動音声電話によるアカウント認証

1.電話番号の入力 ✓

2.通話中 ✓

3.本人確認終了

本人確認が終了しました

続行してサポートプランを選択

1) 登録まで

ステップ6: AWS サポートプランの選択

日本語
Amazon Web Services サインアップ

連絡先情報 支払情報 本人確認 **サポートプラン** 確認

サポートプラン

すべてのお客様は無料でサポートを受けることができます。有料のサポートプランを選択すると、経験豊富なエンジニアによる1対1の技術サポートや、その他にも多数のサポート機能をご利用いただけます。以下をご覧ください。

いずれかをお選びください

- ① ベーシック (無料)**
アカウントと請求に関する質問についてはカスタマーサービスに問い合わせ、システムヘルスチェックに合格しないリソースについてサポートを受け、AWS コミュニティフォーラムへのアクセス権を取得してください。
- 開発者 (月額 \$49)**
AWS を開始 - 技術的な問題について問い合わせると、現地の営業時間内のウェブケースに対して 12 時間以内に応答します。
- ビジネス (月額 100 USD より - 参考価格) - 推奨**
電話とチャットによる 1 日 24 時間/週 7 日/年 365 日のリアルタイムサポート、ウェブケースに対する 1 時間以内の応答、およびサードパーティ製ソフトウェアに関するサポート。AWS Trusted Advisor にアクセスして、パフォーマンス、フォールトトレランス、セキュリティを強化し、コスト削減につなげてください。
- エンタープライズ サポート**
ウェブケースに対する 15 分以内の応答、お客様のユースケースを専門とするテクニカルアカウントマネージャ (TAM) の割り当て、重大な問題について TAM およびサービスエンジニアリングチームに通知するホワイトグローブケースハンドリング。
このオプションを選択した場合、すぐに課金されることはありません。お客様にご連絡を差し上げ、お客様のニーズについて何ってからサインアップの最終処理を行います。

②

2) 安全な利用 (アクセス権など)

- 悪意から守るための知識
 - 人事異動、昇降格による業務変更、退職 . . .
 - Rootアカウント、キーとクレデンシャル管理、マネジメントコンソール操作権限 (ロール設定)、リソースへのアクセス制限、操作含めたログ管理、ネットワーク . . .
- どのようなシチュエーションを想定してどのような対策を行うか？
 - AWSで行える範囲 (例: 通常ID/Password、アカウント譲渡、IAM、one time passwordの併用 . . .)
 - お客様システムで行える範囲 (例: アプリケーションID、ポート、ネットワーク経路 . . .)

AWS Security Center

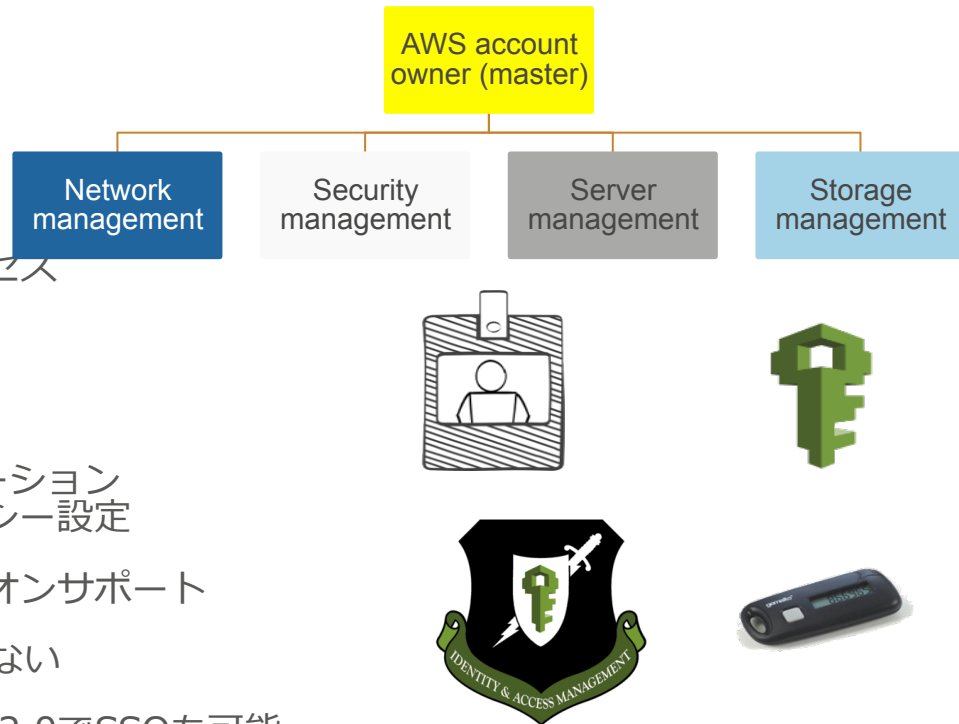
(<http://aws.amazon.com/jp/security/>)

- セキュリティホワイトペーパー
 - セキュリティとプライバシーの回答
 - 半年に1度アップデート
- セキュリティ速報
- 顧客によるペネトレーションテストのポリシー
- セキュリティベストプラクティス
- AWS Identity & Access Management (AWS IAM)
- AWS Multi-Factor Authentication (AWS MFA)



AWS Identity and Access Management (IAM)

- ❏ アカウントごとのユーザとグループの作成
- ❏ セキュリティクレデンシャル
 - アクセスキー
 - ログイン/パスワード
 - 多要素認証デバイス(オプション)
- ❏ AWS APIを使ったポリシーコントロールアクセス
- ❏ API コールは以下のサインどちらかが必須:
 - X.509 certificate
 - シークレットキー
- ❏ 幾つかのサービスではより厳格なインテグレーション
 - S3: オブジェクト及びバケット毎のポリシー設定
- ❏ AWSマネージメントコンソールのユーザログオンサポート
- ❏ OSやアプリケーションレベルのログインではない
- ❏ 既存のお客様ディレクトリと連携させ、SAML2.0でSSOも可能



3) 請求・費用

susumu takaoka ^

- アカウント
- 請求とコスト管理
- 認証情報
- サインアウト

- 「ドル」のみなののでしょうか？
 - 円での表示も可能です。
- 「カード支払い」のみなののでしょうか？
 - 場合によっては請求ベースでも可能なケースがございます。
 - ※詳細はお問い合わせください。

The screenshot shows the AWS Billing console interface. At the top, there's a navigation bar with 'AWS', 'サービス', and '編集' on the left, and 'susumu takaoka', 'グローバル', and 'サポート' on the right. The main content area is titled '請求書' (Invoice) and shows a date selector set to '9月 2015'. Below this, there are buttons for 'CSVのダウンロード' and '印刷'. A table summarizes the bill items:

要約	金額
AWS サービス料金	\$0.00
選択されている月に請求書はありません。	
合計	\$0.00

At the bottom, there is a small disclaimer: 'この明細書期間の使用料金と基本料金は、次回の請求日に課金されます。このページに表示されている見舞もりの料金（お客様に送達する通知に表示される料金）は、この明細書期間の実額の料金と異なる場合があります。このページに表示される見舞もりの料金には、この明細書期間中にこのページを見た日以降に生じた使用料金が含まれていないためです。同時に、通知で送付された見舞もりの料金に関する情報にも、この明細書期間中に通知を送付した日以降に生じた使用料金が含まれていません。1 回取りの手数料とサブスクリプション料金は、それらが発生した日時点で、使用料金および基本料金とは個別に算出されます。'

4) 安全な利用 (請求)

- いくら請求されるかわからない (怖い)
- 予算に応じた運用を行いたい
 - 利用料に応じたアラート (AWS Budgets)
 - コストについて「予算」を定め、3ヶ月後までの「予測」を行うことができます
 - あらかじめ閾値 (金額) を設定しておくことにより、普段の目視などとは別に急激に利用料が増えた場合など通知設定を行うことが可能です
 - 利用料は予め算出することができることが多い
 - ネットワークに関してはクラウドに入れる、リクエストを受ける分は無料です。
 - 既存システムの利用状況からアセスメント、クラウド移行時の予測利用料は「見積もり可能」です。

4) 安全な利用 (請求)

利用料に応じたアラート (AWS Budgets)

ダッシュボード | 請求書 | コストエクスペローラー | 予算 | レポート | コスト割り当てタグ | お支払方法 | お支払履歴 | 一括請求 | 設定 | クレジット | 課税設定 | DevPay

AWS | サービス | 編集 | susumu takaoka | グローバル | サポート

予算の作成

予算の詳細

名前*	<input type="text" value="例: 「月別 EC2 予算」"/>
含まれる関連コスト	<input type="text" value="選択する"/>
間隔	月別
開始日*	<input type="text" value="2015-11-01"/>
終了日*	<input type="text" value="2016-02-29"/>
毎月額*	<input type="text" value="米ドル"/>

過去 6 ヶ月の平均 | 先月 (10 月)

4) 安全な利用 (請求)

利用料に応じたアラート (AWS Budgets)

通知 (省略可能)

請求アラームを作成すると、現行または予測された AWS の料金が選択したしきい値を超えた際に、メールアラートを受信できます。

予算通知は、Amazon CloudWatch アラームと同様に有効になり処理されます。CloudWatch の新規ユーザー、またはすでにお使いのユーザーには、毎月 10 セットの無料 CloudWatch アラームが届きます。これに追加されるアラームにはそれぞれ 0.10 USD が毎月課金されます。料金表についての詳細は、[Amazon CloudWatch Pricing](#) をご覧ください。

通知のタイミング: コストが予算の % を超えた場合

+ 新規アラートを追加

連絡電子メール

* 必須

キャンセル

作成

5) AWS経理的視点

- オンプレとクラウドの科目比較

＜固定費から変動費＞

これまで検証を行う場合でも固定費計上、あるいは少額範囲でも管理が必要なサーバーを購入し検証などを行っていた場合、クラウドで実施することにより、必要なリソースを必要な時、また利用した分だけの清算となるため、その手間を省くことができます。

また、クラウドを長く利用していただく際の利用量見積もりや、経理的処理の考え方などご気軽に相談ください。

皆様の会社にとってもっとも良い計上方法を

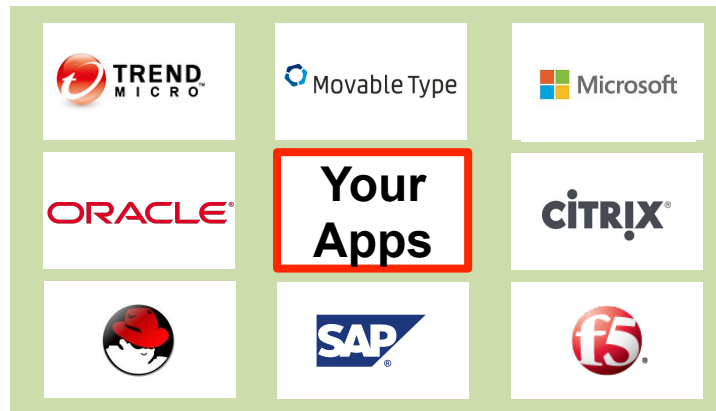
6) AWS法務視点

AWSのセキュリティの考え方

= シェアード・レスポンシビリティ・モデル (共有責任モデル)

Webサイト/アプリケーション

これまでと同様の
セキュリティを
お客様、SI様で実現



インフラ

よりハイレベルの
セキュリティを**AWS**が提供

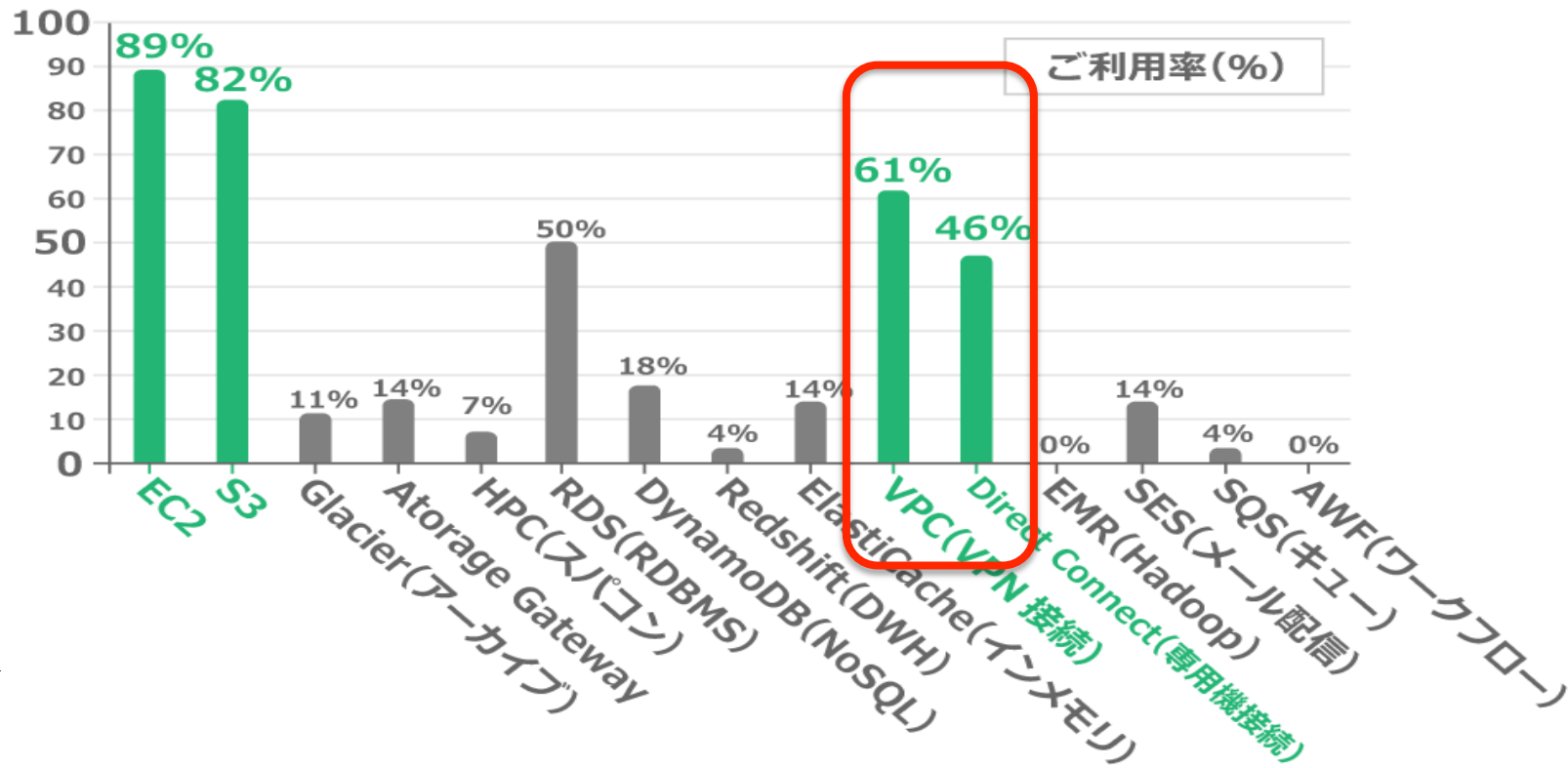


7) VPC / DirectConnect

- 論理的な権限の設定に加え、物理的な経路をセキュアにすることも可能です
 - 実質社内システムの資産としても可能です。
 - VPC
 - 接続拠点を絞り込むことにより、オフィスのみからのアクセスなどしか許さないという設定が可能です
 - Direct Connect
 - 東京DXに加え、大阪DX開設（2015年夏）



どのサービスを使っていますか？（2013年11月）



8) AWSを始めよう

- 是非！ 評価・検証を！
- これまでの検討事項をまとめ、実際にAWSを評価、検証をしてみてください
 - サポート体制は？
 - AWSの情報はどうやって取得するの？
 - 何かイベントなどありますでしょうか？

サポート、バックアップ

Webinarのご紹介

ADOBE® CONNECT™

🕒 タイムゾーン (Pacific/Palau) ▼



Webinar

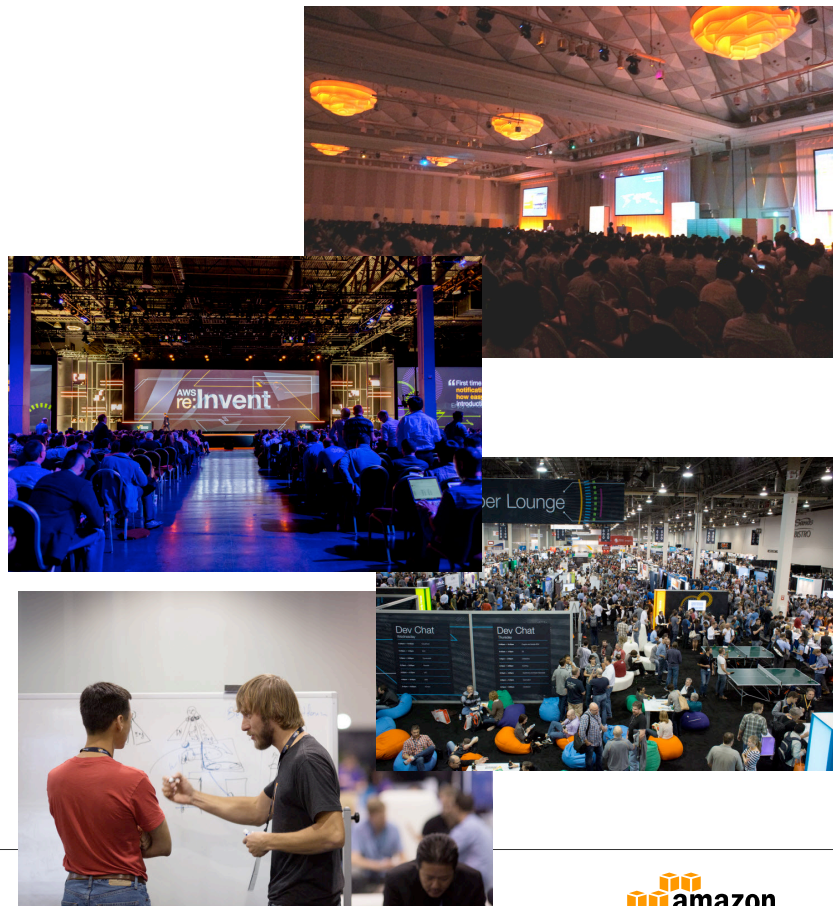


オンラインセミナー情報 | オンラインセミナーお申込み



AWS主催の主要イベント・セミナー

- AWS Summit
- AWS Cloud Roadshow
- AWS re:Invent
- 随時開催無料セミナー
 - はじめてのAWS
 - サインナップハンズオン
 - 使ってみよう！ EC2 / S3



AWS について

AWS について >

グローバルインフラストラクチャ >

最新情報 >

AWS メディア掲載記事 >

国内のセミナー・イベントスケジュール >

関連リンク

クラウドとは？

クラウドの強みとメリット

AWS クラウド 無料利用枠

AWS 日本語ブログ

採用情報

AWS 公式 Facebook ページ

AWS 公式 Twitter

国内のクラウドセミナー・イベントスケジュール

アマゾン ウェブ サービスの最新情報・事例、利用方法等、様々なイベント・セミナーの最新スケジュールをご紹介します。ぜひお気軽にご参加ください。

ITが変わる。仕事が変わる。

AWS Cloud Roadshow 2015

名古屋 10/26・福岡 11/4・札幌 11/12・大阪 12/2

powered by intel



AWS Cloud Roadshow 2015 powered by Intel® ~IT が変わる。仕事が変わる。~ 名古屋、福岡、札幌、大阪で無料 AWS クラウドカンファレンス開催！

▼ 展示会・カンファレンス ▼ セミナー ▼ オンラインセミナー ▼ トレーニング ▼ ユーザーグループ

大阪で開催するセミナースケジュールはこちら >

展示会・カンファレンス

アマゾンが主催、参加する展示会、カンファレンスをご紹介します。

レベルに応じて無料サポートから 3段階の有償サポートを選択可能

主なサポートメニュー		ベーシック	デベロッパー	ビジネス	エンタープライズ
価格帯		無料	\$49	\$100～	\$15,000～
アカウント、課金等のご相談(平日 9:00-18:00)		●	●	●	●
サポートフォーラム		●	●	●	●
技術サポートへの アクセス方法	ヘルスチェック	●	●	●	●
	Eメール	平日 9:00-18:00	●		
		24時間受付			●
	電話			●	●
チャット*1				●	●
ご利用登録ユーザー数			1	5	無制限
初回応答時間(最短*2)			12時間以内	1時間以内	15分以内
アーキテクチャーのご相談			個々のサービスの組み合わせ	一般的なユースケースのガイダンス	アプリケーションのアーキテクチャ
ベストプラクティスのご相談			●	●	●
上級エンジニアによる対応				●	●
サードパーティ製ソフトウェアのサポート*3				●	●
AWS Trusted Advisor				●	●
専任スタッフ*4 のアサイン					●
ホワイトグローブ・ケースルーティング*5					●

